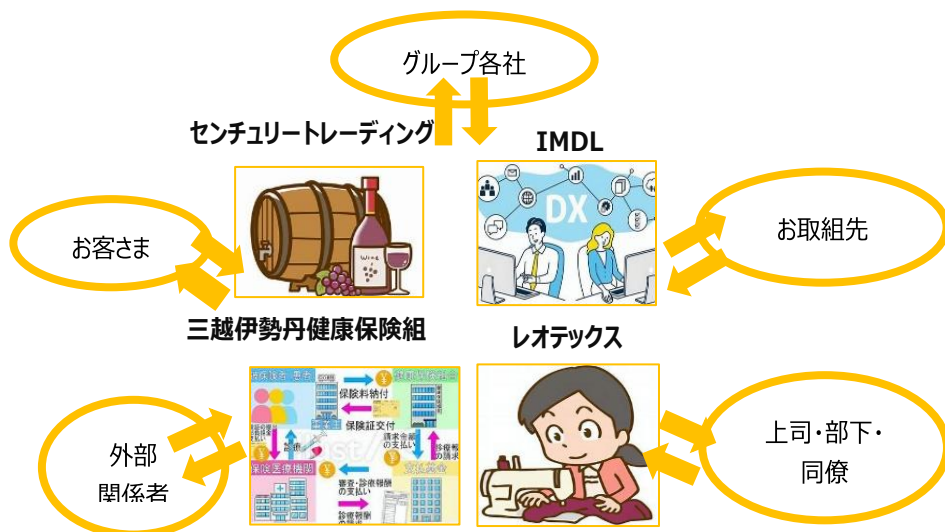


【第11期の運動方針のテーマと考え方】

各人の強み・スキルを組織内で存分に発揮し、個の力を集結させお互いに協力しあい、補完しあいながら

『ONEチーム』で進もう！

そのためには、業務に関わる社内外全ての人達との強固な関係づくりが重要です。



関係づくりには3つのことを意識し、実践しよう！ ウサ

『相手の話に耳を傾け **傾聴** する』



『相手の話を理解し寄り添い **共感** する』



『相手の言葉を批判や評価をせず **受容** する』

第10期の活動テーマ『“あなたもOK・わたしもOK”を合言葉』に基づき、やりがい・働きがいに通じる制度構築・水準引上げ等に取り組みながらVOICE活動を重ねる中で、組合役員とメンバー・メンバー同士など個人と個人の間における相互尊重の意識を向上させていく必要性・重要性を再認識しました。

第11期は、個々人の関係性を土台にしつつ、更にチーム内や組織全体など、より広い関係構築の観点から多様な考え方や意見を受け入れる柔軟性とメンバー一人ひとりが想う「ありがたい姿」につながる活動を実践します。

【第11期の運動方針の概要】

経営方針にある「グループ連邦」の推進強化に伴い、各社の専門性を踏まえ組織の力や個の力を高めること＝エンゲージメント（個人と組織が一体となり、双方の成長に貢献しあう関係）の向上が求められています。このような環境を認識し、組合は以下の活動に注力していきます。

- 現場活動として、VOICEサイクルの更なる推進を踏まえ『聴く・話し合う・伝える・知らせる』機会を増やします。
- 労働福祉ビジョンに基づき、制度の適正な運用と定着を通じて、公平・公正な評価と働きやすい環境の整備を労使で取り組みます。
- マネジメントやコミュニケーションに関するセミナーを他支部のメンバーと合同開催し交流を深めます。

関連1支部 第11期（2024・2025年度）運動方針（案）

【取り巻く環境】

- ・グループ連邦の更なる推進・強化を踏まえ各社の事業計画の必達が求められていく中、一人ひとりが自社・自事業の方針・方向性を正しく理解し、**各人の強みを活かし、成果発揮・貢献**に繋がっていることが重要になります。
- ・また、グループ全体の更なる生産性向上や組織の活性化を意識し、グループ企業間の人材交流や協業の機会・頻度が増えていくことが想定され、**相互尊重を意識した言動や職場風土の醸成**が求められます。
- ・したがって、雇用環境の改善や最低賃金の上昇が進む中、専門人材確保に向けた、魅力ある労働条件の構築がこれまで以上に求められ、**エンゲージメント（個人と組織が一体となり、双方の成長に貢献しあう関係）を向上**させる施策や機会の提供を継続的に取り組むことが必要と考えます。

【重点取り組み（具体的な活動）】

教育・広報活動

- ・個人および組織力の強化とともに、他企業のメンバーとの交流を通じて、新たな気づきや多様な考え・意見を得る場として、他支部との合同セミナーを実施する（テーマ：組織力強化 マネジメント力・課題解決力など）
- ・運動方針のキーワード『**傾聴・受容・共感**』の重要性について、メンバーの理解・浸透につながるよう定期的に情報発信をおこなう
- ・三越伊勢丹グループで働く従業員として、魅力・安心などに結びつく『福利厚生に関する内容』や『お役立ち情報』を適宜伝える

現場活動

- ・テーマ別VOICE（出向者含む） 職場委員会を定例で実施し、職場環境の実態や各人の思い・今後のキャリア等についてメンバーと対話をし、労使間での共有・改善対応などにもつなげる。
- ・メンバー同士のコミュニケーションの場の設定（職場親睦会の運用）や、本部発信の情報に基づき、社会貢献活動への参加促進をおこなう。

労働福祉・経営対策活動（労使で取り組む活動）

- ・労働福祉ビジョンに基づき、労使通年協議項目についてスケジュールを踏まえ、労使協議を計画的におこなう。
- ・人に関わる諸制度について、正しい理解と運用の定着に取り組む。特に、評価制度においては、面談の実施状況や目標設定などを適宜確認しながら、公平・公正な運用に結びつける。
- ・働き方（労働時間管理 ハラスメントゼロ 職場風土）に関して、労使機関会議やVOICE活動を通じて実態把握をおこない、必要に応じた改善対応を労使で取り組む。
- ・中長期的な企業の方向性やあるべき姿（組織運営 要員体制など）を確認し、メンバーとも情報共有をおこなう。

【第11期前半年度（2024年度）支部活動費予算について】

予 算	前期実績	前期比
860,000円	444,267円	193.6%
<ul style="list-style-type: none"> ・現場活動費：テーマ別VOICEを食事休憩時間に実施することを踏まえ、お弁当代を想定し6万程度を予算組み ・会議費：職場委員会を原則毎月昼休憩時間に実施することを踏まえ、お弁当代を想定し3万円程度を予算組み ・レク費：メンバー同士の懇親を目的に「職場親睦会費」として、前期の参加人数を考慮し4万円強を予算組み ・交通費：レオテックス分会評議員会交通費予算および札幌・函館・仙台・新潟へのVOICEを計画し、17万弱を予算組み ・教育活動費：2024年9月および2025年5月 関連2支部との合同セミナーを実施予定 50万の予算組み 		